

部局名

工学部・施設環境部

担当：西岡賢祐



テーマ

電力購入契約による3.8メガワット太陽光発電設備導入

「大学の事務及び事業に伴い直接的または間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を2030年度までに51%削減（2013年度比）することを目標」と定め、2050年の「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを基本理念として掲げている。

宮崎大学木花キャンパス内に、太陽電池モジュール出力で1.5MW（メガワット）、清武キャンパスに同2.3MWの太陽光発電システムが2024年2月1日より稼働。駐車場（木花：649台、清武：943台）を有効活用したソーラーカーポートを設置し、設置前後で駐車可能台数を減らすことなく発電。

出光興産株式会社とソーラーフロンティア株式会社が敷地内に太陽光発電システムを設置し、その電気を大学が購入するPPA（Power Purchase Agreement）により、初期費用を必要としない手法。

ココが凄い！！

- ✓ 合計3.8MWの出力は、キャンパス内設置（オンサイト）の太陽光発電として国内最大級！！（2024年2月時点）
- ✓ 設置前後で駐車可能台数を減らすことなく発電！！
- ✓ 木花キャンパスの使用電力量の約23%※1、清武キャンパスの使用電力量の約16%※1を供給！！
- ✓ 導入によるCO₂排出量削減効果は年間約1,400トン※2！！

▼紹介動画



※1、想定発電量からの試算 ※2、2022年度CO₂排出量係数による試算

清武キャンパス 2.3MW

設置前



設置後



木花キャンパス 1.5MW

設置前



設置後

